

# ヨコハマ・カナガワ 留学生就職促進 プログラム

令和3年度

採用事例  
事業報告  
パンフレット

オール横浜・神奈川での産官学民のコンソーシアムにより、神奈川県や横浜市を中心に日本での就職を希望している留学生が就職に必要な知識・能力を身につけられるよう本プログラムを通じてサポートいたします。



ヨコハマ・カナガワ  
留学生就職促進プログラム



横浜国立大学



横浜市立大学

# 留学生就職促進プログラムとは？

INTERNATIONAL STUDENT CAREER DEVELOPMENT PROGRAM

大学が地域の自治体や産業界と連携し、外国人留学生の日本国内での就職率を引き上げることを目的とした事業です。就職に必要なスキルである「ビジネス日本語」「キャリア教育」「インターンシップ」を一体として学ぶプログラムを提供し、日本企業で活躍する高度人材の育成を目指します。『ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム』は、横浜国立大学(YNU)、横浜国立大学(YCU)、神奈川県、横浜市、経済団体、企業、市民団体とのパートナーシップにより、平成29年度からプログラムを実施しています。

## 横浜国立大学 × 横浜国立大学

● 日本語教育 ● キャリア教育 ● インターンシップ

協力大学：神奈川大学・関東学院大学

コーディネーターを中心に  
プログラムを推進

横浜国立大学と横浜国立大学の専任コーディネーターが留学生と大学、企業、自治体、関連団体との橋渡しをきめ細かく行います。

横浜市

(政策局、経済局、国際局など)  
市内の地域や企業に働きかけ、事業を全面的にバックアップします。

国際交流団体 / 自治体 / 経済団体・企業

留学生への教育・サポート

留学生

関係諸機関・企業との連携

### 日本語教育

BUSINESS JAPANESE LANGUAGE PROGRAM

留学生の語学能力に応じて、日本の企業に就職するに当たって重要となる日本語能力試験1級(N1)相当へのステップ・アップが可能な体制となっています。正課での日本語科目の受講が困難な留学生向けには、授業のない日を活用し、グループワークで実施するビジネス日本語集中講義を開講しています。更には、地域定住外国人向けの日本語教育に実績のある学外NPO等と連携し、土日にビジネス日本語講座も実施しています。

### キャリア教育

CAREER EDUCATION PROGRAM

キャリア教育のプログラムでは、日本の企業文化や雇用慣習、日本人と一緒に仕事を進める上で必要になるコミュニケーションなどを正課科目、正課外科目を通して学びます。神奈川県内の企業を見学し、様々な仕事に就く社会人の方と交流する中で、自分はどういうキャリア(人生)を築きたいのか考える機会としています。留学生はこのプログラムを学習することにより、日本企業の採用・人材育成システムについて理解を深め、日本での就職活動にあたって必要な知識とスキルを身につけることができます。

### インターンシップ

INTERNSHIP PROGRAM

留学生が日本での就職を希望する場合、就職後のミスマッチを防ぐ上でインターンシップは重要な役割を果たします。企業にとっても、留学生採用後の受入れ環境整備を検討する有効な機会となります。このプログラムでは、経済団体・企業の留学生採用の理解促進を自治体为主导し、インターンシップ受入れの協力や支援活動に結びつけています。大学は学生のキャリア志向に合わせた企業とのインターンシッププログラムの開発・調整を行い、事前・事後学習を含めた学生の個別フォローに注力しています。

横浜モデルの確立！

コーディネーターを中心とする  
留学生就職支援の取組みを

目指す留学生就職率

30% → 50% へ

## 令和3年度 留学生就職意向調査

回答数

横国大 305名 + 横浜市 33名 = 合計 338名

### 調査に回答した留学生の属性

学部/修士/博士

	横国大	横浜市	合計
学部	81	15	96
修士	171	16	187
博士	53	2	55

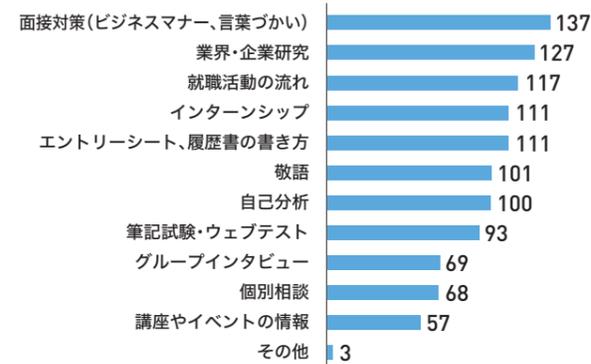
学年

	横国大	横浜市	合計
学部1年	28	5	33
学部2年	8	6	14
学部3年	21	3	24
学部4年	24	1	25
修士1年	100	15	115
修士2年	71	1	72
博士1年	17	1	18
博士2年	16	0	16
博士3年	20	1	21

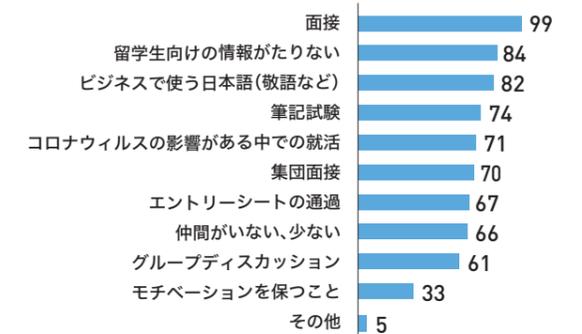
日本語能力試験レベル

	横国大	横浜市	合計
N1	188	22	210
N2	48	8	56
N3	3	0	3
N4	2	0	2
N5	0	0	0
JLPT未受験	64	3	67

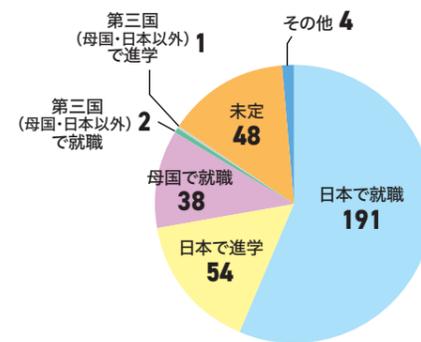
日本の就職活動に対して関心があることは何ですか？(複数回答可)



日本の就職活動に対して苦労していることは何ですか？(複数回答可)



卒業・修了後に希望する  
進路を教えてください。



留学先に日本を選んだ理由を教えてください。

最初は日本のアニメに惹かれ、日本の生活に憧れて。高校卒業後、両親と日本旅行をした時に日本人のやさしさを深く知ったこと。

高度な教育が受けられること。

大学時代の専攻は日本語で、日本語を活かして自分の好きなことを勉強したいと思ったので。

日本の経済における成功要因を知りたかったため。また、ベトナムにある日本企業が増えているため。

両親が日本で大学院を卒業したこともあり、自然に日本の大学に興味を持つように。さらに先進国でありながらも韓国と似ていると思ったので。

中国でよく日本の番組を見ていた。コストが相対的に低く、多くの観客が楽しんでくれる番組の制作のしかたなどを勉強したいため。

日本で就職したい理由を教えてください。

自分のキャリアを考え、先進国であり世界に通じる競争力のある日本企業に入るということは非常に魅力的に思う。さらに自分の視野を広げることや、グローバル化が一層進む中でより多様な人との出会い、交流する経験は重要だと思った。

日本に来て2年半、日本社会の安全・安心を深く感じた。困った時に、日本人はいつも根気よく助けてくれた。これからは自分も困っている人に、何らかの手助けをしたい。また、自分のやりたいこと、自分の目標とする将来像を考えた上で、日本での就職を決意した。

中国の実力主義・学歴重視とは異なり、日本の企業は学生の能力と学歴より、性格と思考方を重要視していると感じたため。

日本では入社後の研修が充実しているため。

モノづくりの業界で技術を学びたいため。

コンテンツ産業の国際的経営に力を入れたいと思ったから。また日本企業は労務関係が安定していると感じるため。

# 活躍する外国籍社員 紹介事例 1

## ファンケルグループ 株式会社アテニア

(本社所在地：神奈川県横浜市中区)

無添加の化粧品・健康食品の研究開発、製造販売を手掛けるファンケルグループで、「確かな美しさを、続けられる価格で。」をコンセプトに化粧品から衣料雑貨まで幅広く展開するエイジングケア専門ブランド。高品質な日本の化粧品は近年アジア諸国を中心に人気が高まっていることから、ブランドのグローバル展開のため海外出身者の採用に力を入れている。マーケットの大きい中国はとくに注力している地域で、アテニア海外事業推進部は半数以上が中国人社員で構成されている。



### — 現在の主な業務内容は？

主に中国向け越境ECにおける販路開拓や広告宣伝に携わる仕事をしています。具体的にはWebサイトの更新管理や、掲載画像の手配、CRMや売上の管理などです。SNSプロモーション等の企画ディレクションをすることもあります。アテニアの商品を中国の潜在顧客にPRし、購入していただくための仕組みづくりですね。部署には中国出身者が多く、部長の新明さんも中国語を話せるため会議の一部は中国語で行うこともあります。

### — 母国との違いを感じる時は？

もともと中国の苛烈な競争社会に飛び込むよりも日本企業の安定した風土のなかでじっくり成長する方が自分には合っていると思っていました。ファンケルグループはまさにイメージ通りの企業で、入社から半年の研修期間で、会社のことを深く学び、ビジネスに必要なスキルを身に付けてから配属されたため自信をもって働き始めることができました。仕事中は「報・連・相」を大切にしています。チームワークを重視することは日本企業の特長ではないでしょうか。

### — ファンケルグループを志望した理由は？

グループの「内外美容」の考え方に魅力を感じました。化粧品で身体の外からきれいになるだけでなく、サプリメントなどを通じて内側からもきれいになるという発想です。お客様の悩みに寄り添った製品開発をしている点にも共感しています。本社が横浜にあるという点も気に入っています。学生時代の友人たちが近くに住んでいますし、本社のそばには中華街もあります。

自信を持つことが  
何より大切

恐れずに、積極的に  
コミュニケーションを

### 施 静雅 (シセイガ)

事業戦略本部 海外事業推進部  
海外事業推進グループ (2021年入社)

横浜国立大学大学院  
国際社会科学府 国際経済法学科 修士  
出身国：中国

### 新明 恵美 事業戦略本部 海外事業推進部 部長

社員の背景は一人ひとり異なるということを前提として、「外国籍だから」とひと括りにせず、個人々々に対してきめ細かくサポートができるよう積極的にコミュニケーションを図っています。これから海外展開を強化していくためには、外国人社員の力が不可欠です。とくに広告宣伝をはじめとするマーケティング活動は、広告代理店から提案される数値だけでは測れない要素が多く、その国で育った人の「感覚」を取り入れることで、よりお客さまに伝わる広告宣伝をすることができます。施さんたちの感性を信頼しています。



# 活躍する外国籍社員 紹介事例 2

## 田中サッシュ工業 株式会社

(本社所在地：神奈川県横浜市金沢区)

1920年創業。鋼製建具の専門メーカーとして、安全で快適な暮らしのためにスチールドアの製造、取り付け、メンテナンスなどを行う。高い技術力で製造された防火設備「タナファイア」は国土交通省の認定を受けており、オフィスや公共施設などに用いられている。外国籍の社員のほか、外国人技能実習生も在籍。社員は鉄板からの型抜きやCADの操作など、ものづくりの現場で技術を身に付けながら働いている。



### — 現在の主な業務内容は？

事務作業のほか、CADを使った製図を担当しています。製図は間違ってしまうと高額な材料を廃棄せねばならず、責任重大です。しかし田中サッシュ工業であれば、一生モノの技術を身に付けられると思って入社をしたので、このような役割を与えられ、学びながら働けることを嬉しく思っています。また、工場では中国人技能実習生が働いているので、彼らと日本人社員とのコミュニケーションの橋渡しをすることもあります。

### — 母国との違いを感じる時は？

仕事に対する責任感が強く、「みんなのために」という思いを持って仕事に臨む方が多いように思います。社員一人ひとりがチームワークを重んじ、計画に沿って仕事を全うしています。当社の高い技術力は、社員が互いの仕事を信頼し合えるからこそ実現しているのだと感じます。

### — 田中サッシュ工業株式会社を志望した理由は？

横浜市立大学では文系の大学院で学んでいましたが、ものづくりに興味があったので、大学のキャリア支援センターに相談したところ紹介され、アルバイトからはじめました。田中サッシュ工業は高度な加工技術で防火設備などを開発し、業界内でも独自の地位を築いている企業なので長く働き続けるために、確かな技術を身に付けられると思いました。また、当社は杭州に合併会社を持っているので、これから中国での仕事が増えていきそうです。今後は語学力と技術力を磨くことでより多様な業務に邁進したいと考えています。

一生モノの  
確かな技術が  
身に付く仕事を

身に付く仕事を

### 張 柯宇 (チョウカウ)

製造部 (2020年入社)

横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 修士  
出身国：中国



### 鈴木 亨 取締役製造部長

外国籍の社員を特別扱いはありませんが、当社は熱意と実力があればどんどん新しいことにチャレンジさせる社風があるため、勉強熱心な張さんはめきめきと力を伸ばしています。単に真面目だというだけでなく、休み時間にも専門誌に目を通したり、用語集を見て言葉を覚えたりと、少しでも早く仕事を覚えようとする姿勢には感心しています。社員一同いい影響を受けています。また当社は2017年に中国に合併会社を設立しました。中国での展開を見込み、語学力のある社員の力は不可欠です。今後、張さんにはさらに幅広く活躍してもらおうことになるでしょう。さらなる成長を期待しています。



上司  
コメント

上司  
コメント

# 在學生・卒業生インタビュー

**JOO YESEUL**  
(ジュ イェスル)

在學生  
プログラム修了者

横浜国立大学 経済学部  
(2023年3月 卒業予定)  
出身国：韓国



3年生の春に長期間のインターンシップを探していたなかなか見つけれなかった時、留学生就職支援デスクに『SUCCESS-Osaka Future Design 2021』を紹介していただきました。SDGsに興味があったこと、関西の友人も多かったことから迷わずに申し込みをしました。初めてのインターンシップは全てが新鮮で楽しく、初対面の人たちと同じ目標に向かって長期間努力したことは本当に有意義な時間でした。PCを使うのが上手な人、誰も気づいていなかった点に気づく人など、それぞれに強みがあることを知り、私自身も「まとめることが得意」という強みに気づくことができました。同時に、他人の発想や意見を聞くことで視野が広がり、今の自分に足りないものが何かを見つめ直す機会にもなりました。将来はグローバルに活躍し、日本や母国、そして仕事以外でも留学生の後輩たちのためになるような活動をしていきたいです。

**王家裕**  
(オウ カユウ)

在學生

横浜国立大学大学院 国際社会科学府  
(2022年3月 修了予定)  
出身国：中国



パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 内定

留学生就職支援デスクの方々には、アドバイスだけでなく、挫けそうになっていた時に沢山勇気や励ましの言葉をいただきました。大学にある書籍で業界研究をしたり、模擬面接、就活相談の機会も積極的に活用し、十分な対策を練ることができました。また、就活準備講座では、就活のスケジュール、ビジネスマナー、ESの書き方、ウェブテストなどの知識や注意点を効率的に学ぶことができました。さらに、日本KFCホールディングス株式会社(7日間)と株式会社アイネット(2か月間)のインターンシップも紹介していただき、社会人としての知識を学ぶだけでなく、リーダーシップを鍛え、IT分野やデータ分析手法に関することも学びました。これらの経験のおかげで就職活動を順調に進めることができたと思います。

入社後はIT分野のスペシャリストとして、これまで培ってきた経験や知見を活かしつつ、社会に貢献したいです。

**謝林生**  
(シャ リンセイ)

在學生  
プログラム修了者

横浜国立大学大学院 理工学府  
(2022年3月 修了予定)  
出身国：中国



株式会社SCREENホールディングス 内定

半導体材料と半導体製造装置の領域において、トップクラスの技術力を持つ日本で学びたいと思い、日本の大学院に進学しました。研究室では主に熱流体解析ソフトウェアを用いる原子層堆積装置内の移動現象の解析について研究しています。

半導体製造装置業界でのインターンシップでは、研究活動でも扱っているシミュレーション業務を体験し、研究と実務との違いを知ることができました。基礎知識不足と、日本語での意思疎通が不慣れだったこともあり、適切な「報・連・相」や論理的な説明をすることが難しかったです。このインターンシップを通して、限られた時間の中で、量より質を重視し、論理的に説明することの重要性を学びました。沢山の方々からご助力を頂いたお陰で、就職活動を順調に進めることができました。

プログラムで得た知識と経験を今後の研究や入社後の仕事に活かしていきたいです。

**余雯娟**  
(ヨ ブンキョウ)

在學生

横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府  
(2023年3月 修了予定)  
出身国：中国



日本の空き家問題に興味を持ち、その解消に貢献したいと思い日本の大学院に進学しました。大学院では農村地域における空き家管理の実態と空き家対策に関する研究を行い、人々の生活環境の保全を図るとともに地域の活性化に貢献できるように取り組んでいます。

学習奨励費を受給でき、経済面の不安が解消され、学業に専念できるようになりました。奨学生に採用されたことで学業と就活に対する意識も高まり、何事にも前向きな気持ちで取り組んでいます。また、オンライン就活講座や先輩との交流会、SPI対策など充実度の高いコンテンツを通じて、さらなる自信を得ることができました。

将来は地域社会学の知識を応用して、価値の高い公共システムの開発に貢献したいです。世界を舞台に活躍するグローバル人材になるために、ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、より一層勉学に励み、努力を重ねて参ります。

プログラム修了者

「日本語基礎力」「キャリア教育」「インターンシップ」等の5つのカテゴリの各必要ポイントを全て獲得したプログラム参加者

**許敏華**  
(キョ サトカ)

在學生  
プログラム修了者

横浜国立大学大学院 国際マネジメント研究科  
(2022年3月 修了予定)  
出身国：中国



DXCテクノロジー・ジャパン株式会社 内定

子どもの頃から日本のアニメに興味があり、いつか日本に行こうと思っていました。母国の大学を卒業後、自分の能力・スキルを鍛えようと日本の大学院に進学することを決意しました。

留学生就職促進プログラムを通じて、敬語などのビジネス日本語、就職のための情報収集方法と企業の選考に関わる様々な知識(エントリーシートの書き方、適性テストの対応策、面接の対策など)を習得しました。本選考の時には、就職支援コーディネーターの方にエントリーシートと面接文の下書きをチェックしていただき、選考の通過率が上がりました。苦勞の甲斐もあり、5つの企業から内々定をいただきました。事業の将来性や、自分のやりたいこと、社風など総合的に熟考し、クラウド事業に力を入れている外資系IT企業を就職先を選びました。まずはIT全般の知識を習得し、5年後にはチームリーダー、10年後にはマネジャーを目指して頑張りたいです。

**ZOU ZIXUAN**  
(ズウ シケン)

卒業生

横浜国立大学大学院 都市社会文化研究科  
(2019年3月 修了)  
出身国：中国



株式会社東洋精機製作所 勤務

せっかく日本の大学院で勉強してきたので、学んだことを活かして将来的に日本で独立できないかと考え、日本で就職することを決めました。留学生就職促進プログラムでは、自己紹介の仕方・考え方、面接時のマナー、作成書類の日本語チェックなどにおいて大変勉強になりました。企業見学の際、以前読んでいた『下町ロケット』の主人公が働いている会社とそっくりで感銘を受け、ここに就職したいと思いました。

現在は、材料の評価に使われている精密機械一試験機の販売、メンテナンスなどの業務に携わっています。学生時代は文系の専攻でしたが、理工系向けの仕事に就けてよかったです。中国と日本では対人関係における距離感が異なっているため、最初は少し悩むこともありましたが、コミュニケーションを重ねていくうちに距離感を掴めてきました。将来は海外担当になって、グローバル市場をもっと広げたいです。

**李宰旼**  
(イ ジェミン)

在學生

横浜市立大学 国際総合科学部  
経済科学系 経済学コース  
(2024年3月 卒業予定)  
出身国：韓国



視野を広げるために留学しようと思い、親が日本の大学院を出ていて幼い時から日本文化にふれていたこともあり、日本の文化や配慮の心など、多くの学びがあると感じて日本への留学を決めました。大学では様々な講義を受講していますが、自分にとって最も大きな学びは“違い”でした。単純に留学生だから日本の学生と違うということだけでなく、個々人には多様な違いがあり、互いの価値観をもとに意見交換をすることで成長に繋がっていると実感しています。

留学生就職促進プログラムでは、日本で働くために必要なビジネス日本語や心構えなど、これから身につけるべきことを学びました。また、企業研究や企業の方との座談会、インターンシップ参加など、得た知識を実践に活かすこともできました。人と話すことが好きでコミュニケーション能力に自信があるため、それを活かせる仕事に就きたいと思っています。

**孫小淳**  
(ソン ショウジュン)

卒業生

横浜国立大学大学院 国際マネジメント研究科  
(2020年3月 修了)  
出身国：中国



建設業界 勤務

就活で右も左もわからない状態であったため、留学生就職促進プログラムに参加し、自己分析の方法を学びました。留学生同士で議論したことで、より効率的に自己分析を行えるようになったと感じます。インターンシップや面接を通して、現在勤めている会社の雰囲気や、会社の先輩も温かく接して下さったため入社を決めました。

入社当初はビジネス用語がわからず、話もあまりうまく聞き取れませんでした。特にクライアントとの電話が苦手だったので、学生時代に日本語をもっと勉強しておけばよかったと思いました。今はIT推進部門にて、建設業界で最新のデジタル技術やエンジニアリング力を用いて、お客様の課題解決に向けた最良の企画を提案しています。働き始めてみて、新入社員研修が充実していること、ワークライフバランスが取りやすいこと、女性が働きやすい環境であることを実感しています。

## 令和4年度からの後継プログラム



# 『かながわ留学生就職促進プログラム』について

平成29年度に文部科学省委託事業として採択された『ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム』は、令和3年度を以って5年間の事業期間を終了します。これまで神奈川県や横浜市、各経済団体、企業、市民団体等皆さまと共に培ってきた留学生の就職支援のノウハウを活かし、令和4年度からは名称もあらたに『かながわ留学生就職促進プログラム』として、より一層の事業の充実を図っていくこととなりました。今後も引き続き、多くの日本企業で求められる高い日本語力を有する高度外国人材(大卒程度の学歴で専門的な技術や知識を持つ外国人)の輩出に資する「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」の各プログラムを企画・実施し、日本で就職したいという留学生の希望の実現に貢献して参ります。



### 企業の皆様へ

留学生の採用やインターンシップ受入れを進めていただけるよう広報活動を行うとともに、留学生受入れ経験の少ない企業に対して、各種情報提供などの支援を行います。

### 自治体の皆様へ

横浜国立大学・横浜市立大学が接点をもつ企業の動向、近年の採用傾向などの情報を提供し、各自治体が本プログラムに参画しやすい環境を整えます。

### 事業推進体制

採択大学	横浜国立大学、横浜市立大学
協力大学	神奈川大学、関東学院大学、女子美術大学、専修大学、東京都市大学
経済団体・企業	<b>経済団体</b> 神奈川産業振興センター、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、神奈川県経営者協会、神奈川ニュービジネス協議会、横浜商工会議所、横浜市工業会連合会、横浜企業経営支援財団(IDECA) <b>民間企業・交流団体</b> 浜銀総合研究所、横浜市国際交流協会・横浜市国際学生会館、日本貿易振興機構(JETRO)横浜貿易情報センター
自治体	神奈川県、横浜市

詳しくは本プログラムのホームページをご覧ください



プログラムの趣旨や協力団体のご紹介、最新の情報などを掲載しています。右のQRコードからもアクセスできます。

🔍 <http://www.careerjapan.ynu.ac.jp/>



### お問い合わせ先



#### 横浜国立大学

外国人留学生就職支援デスク

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

TEL : 045-339-3949

E-mail : kokusai-shushoku@ynu.ac.jp

<http://www.ynu.ac.jp/>



#### 横浜市立大学

グローバル推進室 / キャリア支援センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

TEL : 045-787-2352

E-mail : ycugp7@yokohama-cu.ac.jp

<https://www.yokohama-cu.ac.jp/>